

国立国語研究所 共同研究プロジェクト

「日本語レキシコンの文法的・意味的・形態的特性」

研究発表会

於 東北大学 片平さくらホール

2012年9月24日(月)

## 日本語と朝鮮語における複合動詞としての成立状況

### - 影山(2012)に基づく分析 -

塚本秀樹(愛媛大学法文学部)

htsuka@ehime-u.ac.jp

## 1. 序論

### (1) 本発表の目的

- (A) 複合動詞に関する日本語と朝鮮語の間の類似点と相違点
- (B) 影山(2012)に基づいて分析すると、どういうことが言えるか。
- (C) 日本語と朝鮮語で構成要素の順序が逆になる複合動詞に関するその後の考察結果の報告

## 2. 朝鮮語における複合動詞の概略

### (2) 内山(1997)による整理・分類

#### (A) 前項が後項の「手段・方法」を表すもの

##### (A-1) 前項と後項が主に「同時」であるもの

(例) 비벼끄다<pipekkuta>(もみ消す), 쓸어모으다<ssulemouta>(掃き集める),  
베어없애다<peyeepsayta>(切り捨てる), 때려죽이다<ttaylyecwukita>(殴  
り殺す), 눌러벌리다<nwullepellita>(押し広げる), 불러세우다<pulleseywuta>  
(呼び止める)

##### (A-2) 前項と後項が主に「異時」であるもの

(例) 구워먹다<kwuwemekta>(焼いて食べる), 지저먹다<cicyemekta>(煮て食  
べる), 끓여마시다<kkulhyemasita>(沸かして飲む), 풀어마시다  
<phulemasita>(溶かして飲む), 실어보내다<sileponayta>(積んで送る),  
만들어팔다<mantulephalta>(作って売る), 빌려입다<pillyeipta>(借りて着  
る)

#### (B) 前項と後項の語彙的意味が類似するもの

(例) 걸어잡그다<kelecankuta>(鍵を)かける), 걸쳐입다<kelchyeipta>(着る),  
동여매다<tongyemayta>(縛る), 견뎌배기다<kyentyepaykita>(耐える),  
멈춰서다<memchweseta>(止まる), 늘여빼다<nulyeppayta>(伸ばす)

#### (C) 前項と後項に因果関係が認められるもの

(例) 싸워이기다<ssaweikita>(戦い勝つ), 늘어붙다<nwuleputhta>(焦げつく),  
빠져죽다<ppacyecwukta>(おぼれ死ぬ), 굶어죽다<kwulmecwukta>(飢え  
て死ぬ)

(D) 前項と後項が「補足の関係」となるもの

(例) 즐겨먹다<culkyemekta>(好んで食べる), 따라뛰다<ttalattwita>(付いて走る), 아껴쓰다<akkyessuta>(惜しんで使う)

(E) 前項が後項の複数性を表すもの

(E-1) 後項の主体または対象語の複数性を表すもの

(例) 모여앉다<moyeancta>(集まって座る), 골라쓰다<kollassuta>(選んで使う), 나눠가지다<nanwekacita>(分けて持つ)

(E-2) 後項の動作の複数性を表すもの

(例) 바꿔타다/갈아타다<pakkwethata/kalathata>(乗り換える), 바꿔입다/갈아입다<pakkweipta/kalaipta>(着替える), 고쳐쓰다<kochyessuta>(書き直す), 고쳐닫다<kochyetatta>(閉め直す)

(F) 「方向」を表すもの

(F-1) 後項が前項の「方向」を表すもの

(F-1-1) 「方向」が「外」であるもの

(例) 넘쳐나다<nemchyenata>(あふれ出る), 벗어나다<pesenata>(抜け出る), 밀어내다<milenayta>(押し出す), 쫓아내다<ccoChanayta>(追い出す)

(F-1-2) 「方向」が「中」であるもの

(例) 날아들다<nalatulta>(飛び込む), 받아들이다<patatulita>(受け入れる), 던져넣다<tencyenehta>(投げ入れる), 써넣다<ssenehta>(書き入れる)

(F-1-3) 「方向」が「上」であるもの

(例) 떠오르다<tteoluta>(浮かび上がる), 끓어오르다<kkulheoluta>(沸き上がる), 끌어올리다<kkuleollita>(引き上げる), 잡아올리다<capaollita>(つかみ上げる)

(F-1-4) 「方向」が「下」であるもの

(例) 굴러내리다<kwullenaylita>(転がり落ちる), 뛰어내리다<ttwienaylita>(飛び降りる), 끌어내리다<kkulenaylita>(引き下ろす), 밀어내리다<milenaylita>(押し下げる)

(F-1-5) 「方向」が「近づき」と「遠ざかり」であるもの

(例) 굴러가다<kwullekata>(転がって行く), 따라가다<ttalakata>(ついて行く), 날아오다<nalaota>(飛んで来る), 올라오다<ollaota>(登って来る)

(F-2) 前項が後項の「方向」を表すもの

(例) 나돌다<natolta>(出回る), 내밀다<naymilita>(差し出す), 들어붓다<tulepusta>(注ぎ込む), 올려묶다<ollyemukhta>(縛り上げる)

### 3. 両言語間の類似点 (塚本 2009, 2012)

(ア) 「動詞連用形 + 動詞」という形式

日本語 - 泣き叫ぶ, 飲み歩く, たたき壊す, 押し上げる, 積み残す, 追い付く, 押し込む, 降り出す, 消えかかる, 読み返す, 食べ過ぎる, 助け合う, 書き直す, 買い損なう, 取り囲む, 振り向く, 取り組む, ...

朝鮮語 - 돌아다니다<tolatanita>(歩き回る), 일어서다<ileseta>(立ち上がる),  
뛰어들다<ttwietulta>(飛び込む; 駆け込む), 찔러죽이다<ccillecwukita>  
(刺し殺す), 받아들이다<patatulita>(受け入れる; 取り入れる), 갈  
아타다<kalathata>(乗り換える), 지켜보다<cikhyepota>(見守る; 見  
届ける), ...

(イ) 先行する節・文が一旦中止しながらも、後続する節・文にかかっていき、両者が  
接続される現象

(3) a. 家に帰り, 早く寝た。

b. 집에 돌아가 일찍 잤다.

Cip-ey tolaka ilccik cassta.

(4) a.途中で車が故障し, 本当に困った。

b. 도중에 차가 고장 나 몹시 곤란했다.

Tocwung-ey cha-ka kocang na mopsi konlanhayssta.

(ウ)「自立語 + 自立語」の存在

(5) 寺村 (1984: 167-171)

(A) V - V : 呼び入れる, 握りつぶす, 殴り殺す, ねじ伏せる, 出迎える, ...

(B) V - v : 降り始める, 呼びかける, 思い切る, 泣き出す, ...

(C) v - V : 差し出す, 振り向く, 打ち立てる, 引き返す, ...

(D) v - v : 払い下げる, (話を) 切り上げる, (仲を) 取り持つ, (芸を) 仕  
込む, とりなす, ...

(6) 内山 (1997) からの具体例

비벼끄다<pipyekkuta>(もみ消す), 구워먹다<kwuwemekta>(焼いて食べる),  
걸어잡그다<kelecankuta>((鍵を)かける), 싸워이기다<ssaweikita>(戦い勝  
つ), 즐겨먹다<culkyemekta>(好んで食べる), 모여앉다<moyeancta>(集まっ  
て座る), 바꿔타다/갈아타다<pakkwethata/kalathata>(乗り換える), 넘쳐나다  
<nemchyenata>(あふれ出る), 나돌다<natolta>(出回る)

(エ)「語彙的複合動詞」と「統語的複合動詞」の2種類の存在

(オ) 前項が後項の手段や方法を表す複合動詞の存在

#### 4. 両言語間の相違点 (塚本 2009, 2012)

(ア) 日本語 - 後項が自立性を失った複合動詞が比較的多い。

朝鮮語 - そういった複合動詞が非常に少ない。

(7) ~出す, ~かける, ~かかる, ~込む, ~上がる, ~上げる, ~立てる, ~  
立つ, ~つける, ~つく, ~返す, ~返る, ~回す, ~過ぎる, ~合う, ~  
通す, ~抜く, ~切る, ~尽くす, ~直す, ~損なう, ~うる, ...

(イ) 日本語で統語的複合動詞を用いて表現することができる場合に，朝鮮語では複合動詞として成立することが認められない。

- (8) a. [s [s 벨가鳴る] 終わった]  
b. [s 父가 [s (父가)ビールを飲む] 続けた]  
c. [s 桜の花가 [s (桜の花가)咲く] 始めた]
- (9) a. 종 소리가 끝났다.  
Cong soli-ka kkuthnassta.  
(直訳：鐘(の)音が終わった。)
- b. 아버지가 맥주를 계속 먹었다.  
Apeci-ka maykcwu-lul kyeysok mekessta.  
(直訳：父がビールを継続(=続けて)飲んだ。)
- c. 벚꽃이 피기 시작하였다.  
Peckkoch-i phi-ki sicakhayessta.  
(直訳：桜の花が咲くこと(を)始めた。)

(ウ) 日本語 - 後項が様態を表す複合動詞が数多く存在する。  
朝鮮語 - そういった複合動詞はなくはないが，非常に限られている。

- (10) a. チョルスは御飯を食べ過ぎた。  
b. 철수는 밥을 지나치게 먹었다.  
Chelswu-nun pap-ul cinachi-key mekessta.  
(直訳：チョルスは御飯を過ぎるように食べた。)
- (11) a. 友達は書類を出し間違えた。  
b. 친구는 서류를 잘못 내었다.  
Chinkwu-nun selyu-lul calmos navessta.  
(直訳：友達は書類を間違えて出した。)
- (12) a. 太郎は次郎と殴り合った。  
b. 다로오는 지로오하고 서로 때렸다.  
Taloo-nun Ciloo-hako selo ttaylyessta.  
(直訳：太郎は次郎と互いに殴った。)
- (13) a. 師匠は弟子に芸を教え込んだ。  
b. 선생님은 제자에게 기술을 {잘/세심히} 가르쳤다.  
Sensayngnim-un ceysa-eykey kiswul-ul {cal/seysim-hi} kaluchyessta.  
(直訳：師匠は弟子に芸をしっかりと教えた。)

(エ) 朝鮮語における統語的複合動詞が，日本語においては本発表で定義している複合動詞ではなく，「動詞連用形 + 接続語尾『て』 + 動詞」という形式に対応して表現される。

(14) (A) アスペクト

- (i) ~ 있다<issta> (いる ; ある) = ~ている  
~ 계시다<kyeysita> (いらっしゃる) = ~ていらっしゃる  
(ii) ~ 버리다<pelita> (捨てる) = ~てしまう  
(iii) ~ 가다<kata> (行く) = ~ていく  
~ 오다<ota> (来る) = ~てくる  
(例) 학생이 의자에 앉아 있다.

Haksayng-i uyca-ey anca issta.

(学生が椅子に座っている。)

(B) もくろみ

- (i) ~ 놓다<nohta>/두다<twuta> (置く) = ~ておく  
(ii) ~ 보다<pota> (見る) = ~てみる  
(例) 파티를 위해서 과자를 많이 만들어 놓았다.

Phathi-lul wihayse kwaca-lul manhi mantule nohassta.

(パーティーのためにお菓子をたくさん作っておいた。)

(C) やりもらい

- ~ 주다<cwuta> (やる ; くれる) = ~てやる  
~ 드리다<tulita> (差し上げる) = ~て差し上げる  
(例) 아들에게 장난감을 사 주었다.

Atul-eykey cangnankam-ul sa cwuessta.

(息子におもちゃを買ってやった。)

(オ) 朝鮮語で複合動詞を用いて表現することができる場合に、日本語においては本発表で定義している複合動詞としては成立せず、「動詞連用形 + 接続語尾『て』 + 動詞」という形式で表現する必要があるものがかなりの割合で見受けられる。

(15) 구워먹다<kwuwemekta> (焼いて食べる)

(カ) 両言語ともに複合動詞としては成立するが、前項と後項が両言語でちょうど逆の順序になっている複合動詞が存在する。

(16) a. 学生は d { を / から } b に書き直した。

b. 학생은 d { 를 / 에서 } b 로 고쳐 썼다.

Haksayng-un tii { -lul / -eyse } pii-lo kochye ssessta.

(17) a. チョルスは半袖 { を / から } 長袖に着替えた。

b. 철수는 반소매 { 를 / 에서 } 긴 소매로 ( 바꿔 입었다. )  
( 갈아입었다. )

Chelswu-nun pansomay { -lul / -eyse } kin somay-lo ( pakkwe ipessta. )  
( kalaipessta. )

(18) a. ヨンヒは母の話を聞き流した。

b. 영희는 어머니의 얘기를 흘려들었다.

Yenghuy-nun emeni-uy yayki-lul hullayetulessta.

(キ) 朝鮮語 - 語彙的意味が類似した動詞が前項と後項に入っている複合動詞が比較的多い。

日本語 - そういった複合動詞はなくはないが、非常に限られている。

(19) 동여매다<tongyemayta> (縛る)

= 동이다<tongita> (縛る) + 매다<mayta> (縛る)

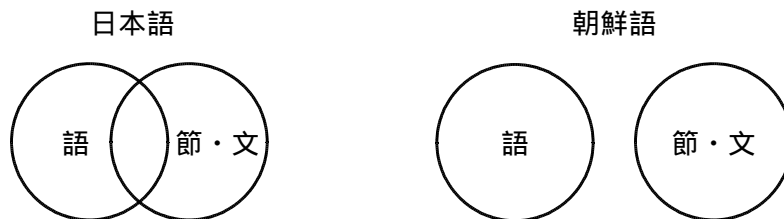
## 5. 両言語間の相違が意味するもの

(20) 「形態・統語的仕組みの違い」という根本的な要因 (塚本 2006b, 2011, 2012 など)

日本語 - 語と節・文が重なって融合している性質のものが存在する仕組みになっている。

朝鮮語 - 語なら語, 節・文なら節・文といったように, 基本的には語と節・文の地位を区別する仕組みになっている。

(なお, この状況を図示すると, 次のとおりである。)



## 6. 影山 (2012) の考察

(21) 意味的主要部 (semantic head) による再分類

(A) 後項 (V2) 主要部タイプ (修飾タイプ)

- ・ V2 が意味的主要部で, V1 が V2 を意味的に修飾する (従来分類では, 手段・様態・原因などに該当)。
- ・ 右側主要部の原則に従うため, 複合動詞全体の意味は容易に解釈できる。
- ・ V1 と V2 の組み合わせ制限も比較的弱く, 生産性がある (語彙的複合動詞全体の約 60 % と見込まれる)。

(例) たたきつぶす, 踏みつぶす, 押しつぶす (いずれも, V2 (つぶす) のやり方を表す。)

(B) 前項 (V1) 主要部タイプ (補助タイプ)

- ・ V1 が意味的主要部であり, V2 は何らかの意味で V1 の意味を補足する (従来分類では, 補文関係及び副詞的修飾が該当)。
- ・ 右側主要部の原則から逸脱するため, 意味解釈や生産性が制限される (語彙的複合動詞全体の約 30 % と見込まれる)。

(例) 静まりかえる, あきれかえる (V2 (かえる) のやり方ではなく, V1 (静まる, あきれる) の度合いを表す。)

(C) 二重主要部タイプ

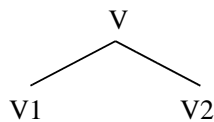
- ・いわゆる並列関係
  - ・V1 と V2 がほぼ対等に意味的重要性を担う。
- (例) 恋い焦がれる

(22) いわゆる「補助動詞」の語彙的アスペクト

- ・語彙的アスペクト (Aktionsart アクツィオンスアルト; 動作の様態, 動作の方式)
  - 完了・未完了といった時間的なアスペクトに限られず, 広く「事象の展開の仕方」を表す。
- (i) 動作が表す事象の完成に至る時間的な段階あるいは完成した後の状態(開始, 継続, 進行, 終了, 変化結果, 不達成など)
- (ii) 動詞が表す事象の強度や程度, 複数事象の同時発生など(一回性, 多回性, 再度性, 強調, 縮小, 集中性, 相互など)

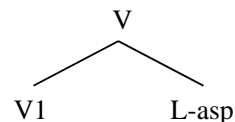
(23) 形態構造

(A) 後項主要部タイプの形態構造



従来の「手段, 様態, 原因, 並列」といった修飾関係に対応

(B) 前項主要部タイプの形態構造



従来の「補文関係」及び「副詞的修飾」に対応

7. 影山 (2012) の考察から朝鮮語の複合動詞について言えること

(24) 主張

朝鮮語では,

後項主要部タイプの形態構造の場合 - 複合動詞として成立

前項主要部タイプの形態構造の場合 - 非常に限られた少数のもの(全敏杞氏の発表参照)を除き, 複合動詞としての成立が不可能

8. 日本語と朝鮮語で構成要素の順序が逆になる複合動詞 - 交替・交換を表すもの

(25) a. 服を着替える

b. \* 옷을 입어 바꾸다

\* os-ul ipe pakkwuta

c. \* 입을 갈다

\* ipe kalta

d. 바꾸어 입다

pakkwue iptā

e. 갈아 입다

- kala iptā
- f. 바꾸어서 입다  
pakkwue-se iptā
- g. \* 갈아서 입다  
\* kala-se iptā
- (26) a. 靴を履き替える
- b. \* 구두를 신어 바꾸다  
\* kwutwu-lul sine pakkwuta
- c. \* 신어 갈다  
\* sine kalta
- d. 바꾸어 신다  
pakkwue sintā
- e. 갈아 신다  
kala sintā
- f. 바꾸어서 신다  
pakkwue-se sintā
- g. \* 갈아서 신다  
\* kala-se sintā
- (27) a. 水を入れ替える
- b. \* 물을 넣어 바꾸다  
\* mul-ul nehe pakkwuta
- c. \* 넣어 갈다  
\* nehe kalta
- d. 바꾸어 넣다  
pakkwue nehta
- e. 갈아 넣다  
kala nehta
- f. 바꾸어서 넣다  
pakkwue-se nehta
- g. ? 갈아서 넣다  
? kala-se nehta
- (28) a. 地下鉄を乗り換える
- b. \* 지하철을 타 바꾸다  
\* cihachel-ul tha pakkwuta
- c. \* 타 갈다  
\* tha kalta
- d. 바꾸어 타다  
pakkwue thatā
- e. 갈아 타다  
kala thatā



(29) a. 壁を塗り替える

- b. \* 벽을 발라 바꾸다  
\* pyek-ul palla pakkwuta
- c. \* 발라 갈다  
\* palla kalta
- d. \* 바꾸어 바르다  
\* pakkwue paluta
- e. \* 갈아 바르다  
\* kala paluta
- f. 새로 바르다  
saylo paluta

(30) a. 家を建て替える

- b. \* 집을 {세워 / 지어} 바꾸다  
\* cip-ul {seywe/cie} pakkwuta
- c. \* {세워 / 지어} 갈다  
\* {seywe/cie} kalta
- d. \* 바꾸어 {세우다 / 짓다}  
\* pakkwue {seywuta/cista}
- e. \* 갈아 {세우다 / 짓다}  
\* kala {seywuta/cista}
- f. 새로 {세우다 / 짓다}  
saylo {seywuta/cista}

(31) a. パソコンを買い換える

- b. \* 퍼스널 컴퓨터를 사 바꾸다  
\* phesunel khemphyuthe-lul sa pakkwuta
- c. \* 사 갈다  
\* sa kalta
- d. \* 바꾸어 사다  
\* pakkwue sata
- e. \* 갈아 사다  
\* kala sata
- f. 새로 사다  
saylo sata

(32) まとめ

日本語と朝鮮語で構成要素の順序が逆になることと，朝鮮語では複合動詞が成立しないことについても，影山（2012）の考察に基づいて説明できそう（？）

## 主要参考文献

- 井上優 (2010) 「事態の叙述様式と文法現象：日本語から見た韓国語」未公開論文，人間文化研究機構・国立国語研究所
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』ひつじ書房
- 影山太郎 (2010) 「複合語のタイポロジーと日本語の特質 - 『日本語は特殊でない』というけれど - 」『国語研プロジェクトレビュー』第1巻第1号，pp. 5-27，人間文化研究機構・国立国語研究所
- 影山太郎 (2012) 「レキシコンと文法・意味：複合動詞研究のこれから」関西言語学会第37回大会のシンポジウム「日本語レキシコン研究の最前線」における口頭発表
- 松本曜 (1998) 「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」『言語研究』第114号，pp. 37-83
- 森山卓郎 (1988) 『日本語動詞述語文の研究』明治書院
- 生越直樹 (1984) 「日本語複合動詞後項と朝鮮語副詞・副詞的な語句との関係 - 日本語副詞指導の問題点 - 」『日本語教育』52号，pp. 55-64
- 寺村秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味 第 巻』くろしお出版
- 塚本秀樹 (1987) 「日本語における複合動詞と格支配」『言語学の視界 小泉保教授還暦記念論文集』pp. 127-144，大学書林
- 塚本秀樹 (1993) 「複合動詞と格支配 - 日本語と朝鮮語の対照研究 - 」仁田義雄 (編) 『日本語の格をめぐる』pp. 225-246，くろしお出版
- 塚本秀樹 (1995) 「膠着言語と複合構造 - 特に日本語と朝鮮語の場合 - 」仁田義雄 (編) 『複文の研究 (上)』pp. 63-85，くろしお出版
- 塚本秀樹 (1998) 「語形成と複合動詞 - 日本語と朝鮮語の対照研究 - 」『筑波大学東西言語文化の類型論特別プロジェクト 研究報告書』平成9年度 (PART I)，pp. 161-172，筑波大学東西言語文化の類型論特別プロジェクト研究組織
- 塚本秀樹 (2004) 「文法体系における動詞連用形の位置づけ：日本語と韓国語の対照研究」佐藤滋・堀江薫・中村渉 (編) 『対照言語学の新展開』pp. 297-317，ひつじ書房
- 塚本秀樹 (2006a) 「日本語から見た韓国語 - 対照言語学からのアプローチと文法化 - 」『日本語学』第25巻第3号，pp. 16-25
- 塚本秀樹 (2006b) 「言語現象と文法化 - 日本語と朝鮮語の対照研究 - 」『日本語と朝鮮語の対照研究 東京大学21世紀COEプログラム「心とことば - 進化認知科学的展開」研究報告書』pp. 27-61，東京大学大学院総合文化研究科
- 塚本秀樹 (2009) 「日本語と朝鮮語における複合動詞再考 - 対照言語学からのアプローチ - 」油谷幸利先生還暦記念論文集刊行委員会 (編) 『朝鮮半島のことばと社会 - 油谷幸利先生還暦記念論文集 - 』pp. 313-341，明石書店
- 塚本秀樹 (2011) 「韓国語との対照」益岡隆志 (編) 『はじめて学ぶ日本語学 - ことばの奥深さを知る15章 - 』pp. 236-256，ミネルヴァ書房
- 塚本秀樹 (2012) 『形態論と統語論の相互作用 - 日本語と朝鮮語の対照言語学的研究 - 』ひつじ書房
- 内山政春 (1997) 「現代朝鮮語における合成用言について - 用言第 語基 + 用言 の分析 - 」『朝鮮学報』第165輯，pp. 39-114

由本陽子(2005)『複合動詞・派生動詞の意味と統語 - モジュール形態論から見た日英語の動詞形成 - 』ひつじ書房

## 付記

本発表は、次の研究による成果の一部である。

人間文化研究機構・国立国語研究所共同研究プロジェクト 基幹型 (研究期間：2009～2013年度, 研究課題名：日本語レキシコンの文法的・意味的・形態的特性, 研究代表者：影山太郎)

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)))(研究期間：2011～2013年度, 研究課題名：日本語と朝鮮語における文法化の生起要因に関する対照言語学的研究, 研究代表者：塚本秀樹, 課題番号：23520465)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究プロジェクト(研究期間：2010～2012年度, 研究課題名：節連結に関する通言語的研究, 研究代表者：渡辺己)

また、朝鮮語のインフォーマント調査では、姜英淑(カン=ヨンスク)氏の御協力を得た。厚く感謝の意を表する次第である。